



# こたけ

# 議会だより

第 191 号

平成23年 3月1日

■発行 小竹町議会  
 福岡県鞍手郡小竹町  
 TEL 09496-2-1967  
 FAX 09496-2-1140  
 ■編集 議会広報編集委員会  
 ■印刷 マツオ印刷株式会社



2月3日  
 小竹幼稚園 豆まき



## 議会を傍聴してみませんか

傍聴場所は、役場3階議事堂内傍聴席です。  
 また、テレビ放映は役場1階ロビー、  
 総合福祉センターロビーで  
 行っています。



- ◆ 主な議案・平成22年度補正予算 …… 2
- ◆ 一般質問…………… 3
- ◆ 請願・意見書…………… 4

### 12月定例会

(平成22年12月27日～平成23年1月14日)

# 12月定例会の主な議案

12月定例会は、平成22年12月27日から平成23年1月14日まで、会期19日間の日程で開かれました。

条例案・補正予算案等の議案が提出され、審議の結果、議会は賛成多数で可決しました。

## 予算委員会の 主な質疑



**問** 高齢者やひとり暮らしの方が病気になるったり、日常生活に困ったりしたときなどの相談窓口はできないか。

**答** 高齢者や障がい者の方の相談等は基本的に福祉課で受けていますが、相談窓口の一本化や啓発については、今後検討していきたいと思えます。

**問** 国で、地域活性化交付金として「きめ細かな交付金」と「住民生活に光をそそぐ交付金」が創設されたが、今回の補正予算の中で、交付対象となるものは。

**答** 今回の補正予算には含まれていません。

**問** 職員の給料を引き下げること、国が地域活性化のために予算を出していることと矛盾している。

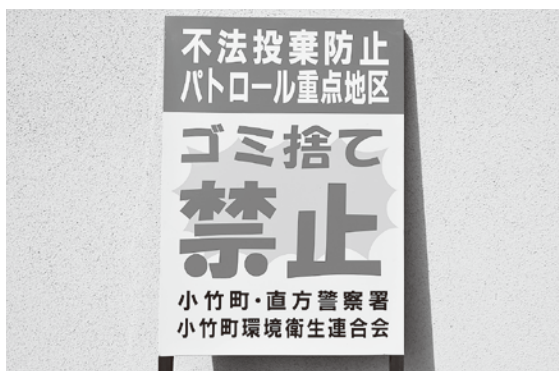
景気を回復するためにアクセルを踏み込みながらブレーキをかけて良いのか。人事院勧告に従わざるを得ないのなら、引き下げた分を地域活性化に役立てるように使えないか。地域活性化交付金の使途は決まっているのか。

**答** 本町の職員の給与は、福岡県内でも低い方から3、4番目です。しかしながら今後も地方公務員法に基づき、国あるいは民間の給与に準じた給与としていきます。よって、人事院勧告等に準じる基本的方針です。

地域活性化交付金の使途については、各課の要望をまとめて、新町長が提案します。

**問** 北小学校の学童保育所は、当初予算では県からの補助金と一般財源で建てることになっていたが、今回、過疎債を充てるように変更されている理由は。

**答** 空き教室を利用した改築から、新築に変更したことにより、過疎対策に適した事業ということでの財源変更です。



**問** 不法投棄の監視カメラは何台設置するのか。また、今回の設置場所は。

**答** 21年度から設置を開始し、今年度未までに計3台を設置予定です。今回の設置は栄町地区を予定しています。

**問** 子宮頸がん等のワクチン接種に関する予算の内容は。

**答** 小児用の肺炎球菌、ヒブワクチン及び子宮頸がんワクチン接種事業を実施する予定です。  
対象者は、国の基準にあわせて、子宮頸がんワクチンは、中学1年生から高校1年生相当の年齢の女子、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンは、4歳までの乳幼児です。

## 平成22年度補正予算

一般会計	.....	1,222万円
特別会計	.....	1,793万円
総額	.....	3,015万円



# そこが知りたい 一般質問



## ○国保税の 子どもの減免措置を

## ○介護保険広域連合の 情報開示を

広瀬 早美 議員

高すぎる国保税の問題は全国に広がっている。保険証がないことでの手遅れで亡くなった方は全国で年間47人もいるという。

社会保険では、赤ちゃんが生まれても保険料は同じである。愛知県一宮市では、18歳未満の子どもの国保税の均等割を3割減免している。本町でも、子どもの均等割減免の考えはないか。

保険証や資格証明書のいずれも持たない世帯について、「役所が怖くて連絡せず放置し、保険証を持っていない」というようなことはないか。

全国の7割の自治体が、保険料が高騰しないよう1人平均1万円以上を繰入しているが、本町の繰入額は。

社会保障審議会の「介護保険制度見直しに関する意見

案」は、日常生活圏内で、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスの提供のため、地域包括支援センターの中学校単位での設置を目指している。巨大広域連合は、この方向性に逆行している。今こそ各自自治体が今後の広域連合について真剣に議論する時であり、今以上の情報開示が必要だと考えるが。

また、新たな格差を生じさせているグループ別保険料を続ける法的根拠はあるのか。本町はグループ別保険料を無くせば、1人平均1万7000円保険料が安くなる。また、町独自で運営すれば、保険料も事務経費も安くなるはずである。まさに住民に負担を押し付けない行政改革になる。町が独自で運営した場合の保険料、事務費手数料、初期投資はいくらかかるのか。

山本町長 子どもに対する被保険者均等割の減免制度は、県内では実施している市町村はありません。今後、全国及び県内の状況を見ながら、新町長のもとで検討されることと思います。また、保険証等を持たない世帯について、国保税を納めないから渡さないのではなく、役場窓口で受け取りに來られないというのが現状です。この方々については文書等で、再度受領の案内をします。法定外繰入については、今年度も5000万円の繰入金を予算計上しています。今後も、効果的な繰入が行われることを期待するところです。

介護保険のグループ別保険料を定める根拠については、通達で「負担の公平の観点から、経過的な措置として、不均一な賦課が許されると考えられる」とされ、この場合、厚生労働省と協議がなされていると聞いています。

また、町独自で運営した場合の保険料は安くなると思われれます。しかし、事務費では経費増となるので、メリット、デメリットを考慮する必要があります。

救急医療情報キットとは、かかりつけ医（歯科も含む）・持病・血液型・服用している薬や必要な医療行為、また緊急時の連絡先等をつつの容器に保管しておくもので



## ○要支援者の救急医療 情報キットの導入 ○高齢者、障がい者のための 日常的な買物支援 体制づくり

大安 美佐代 議員

高齢者・障がいを持たれていらっしゃるため、いざというときに役に立つ救急医療情報キットの導入を提案します。

これは、万が一のとき、駆け付けた救急隊員が適切な救急医療を行うため、活用するものです。

救急医療情報キットとは、かかりつけ医（歯科も含む）・持病・血液型・服用している薬や必要な医療行為、また緊急時の連絡先等をつつの容器に保管しておくもので

す。これをどの家庭にもある冷蔵庫などにおいておけば、いつでも取り出せて、素早く対処ができるのではと考えます。

消防署などと協議して、ぜひ、このシステムを取り入れるかどうか。容器とシールなどで500円程度の費用です。希望者があれば来年度の予算に計上すべきではないでしょうか。

また、このシステムについて町内の方々に様々な方法で伝えていただきたい。

小竹町では、65歳以上の高齢者が3割を占めています。

わが町には日常の食料を確保する店が少なく、住民の方は本当に困っています。

住民の命と生活を守るために、早急に買物支援の施策を打たなければならぬのではないかと思います。

わずかな報酬で、買物をしてくれるボランティアの募集や小規模の小売店に対する支援などを考えていくべきではないでしょうか。

また、支援の相談窓口を一か所、社会福祉協議会か役場に設けてはどうか。

**山本町長** 救急医療情報キットの導入は、必要だと考えます。すでに導入している直方市でも消防署との連携で行っています。

良い提案だと思いますので新町長にも申し送り、早期に検討してほしいと思います。

高齢者・障がい者の日常的な買物支援の施策については、買物や困り事を気軽に依頼できる支援、また災害時に安全に避難できる支援体制づくりが大切なので、地域協働を進めていくことが必要です。

小竹町安全・安心まちづくり推進条例に基づき、地域協働推進員（区長）・民生委員・社会福祉協議会・ボランティア団体・小竹町在宅介護支援センター等を含めたネットワークづくりを推進し、安全で安心な生活ができるよう、新町長に引き継ぎたいと思います。

**福祉課長** 相談窓口の一本化について、支援を要する高齢者の方からの相談は、高齢者福祉の面から、まず役場福祉課でお受けしたいと思っています。

### 請 願 ・ 意見書

- ◎ TPP（環太平洋経済連携協定）への対応に関する意見書採択の請願 …………… 採 択
- ◎ TPP（環太平洋経済連携協定）への対応に関する意見書 …………… 可 決
- ◎ 「一人暮らしの寡婦」医療制度に関する意見書 …… 可 決

次回の定例会は、

**3月3日(木)**

開会予定です。

※事情により変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

## ごあいさつ

今年には寒波襲来で厳しい日々が続きましたが、さあ、希望に溢れた春の到来です。

小竹町議会も新人議員3人を含む新しい議会が誕生しました。私たち議員は自らの行動を通して、小竹町を住みよい町に変えていく使命があると思います。どんな出来事も全てを前進の糧として、皆で力を合わせて頑張っていきたい。

議会だよりの広報編集委員にも新しいメンバーが入りました。多くの皆さまに読んでいただける紙面づくりに努力し、挑戦していきます。これから4年間、皆さまの応援を何とぞよろしくお願い申し上げます。また、紙面に掲載したい情報等がありましたら、ぜひ、役場議事事務局までお知らせください。

皆さま方のこれからの日々が、幸多き毎日でありますようにお祈りいたします。

（編集委員長 大安美佐代）



議会広報編集委員会

- 委員長 大安美佐代
- 副委員長 吉野 慎一
- 委員 野田 剛敏
- 委員 峯岡 均
- 委員 広瀬 早美